

製品名: Ksr2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13146**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	108kDa

抗原情報

遺伝子名	KSR2
別名	KSR2; Kinase suppressor of Ras 2; hKSR2
遺伝子 ID	283455.0
SwissProt ID	Q6VAB6
免疫原	抗血清はヒト KSR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 671-720

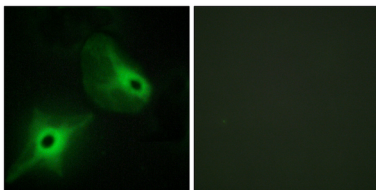
背景

ドメイン: このタンパク質キナーゼドメインは触媒的に不活性であると予測される。機能: MEK と RAF を繋ぐ位置制御性の足場。MAP3K8 キナーゼ活性および MAP3K8 を介したシグナル伝達を阻害する。MAP3K3 を介した ERK、JNK、NF- κ B 経路の活性化

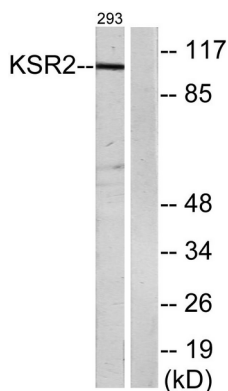
に対する負の調節因子として作用し、MAP3K3 を介したインターロイキン-8 の産生を阻害する。、PTM: MARK3 によって Ser-474 がリン酸化される。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。TKL Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。、類似性: ホルポールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを 1 つ含みます。、類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含みます。、サブユニット: MAP2K1、MAP3K8、MAPK、RAS、および RAF と相互作用します。、組織特異性: 主に脳と腎臓で発現します。、ドメイン: タンパク質キナーゼドメインは、触媒的に不活性であると予測されます。、機能: MEK を RAF に接続する、位置によって制御される足場です。MAP3K8 キナーゼ活性および MAP3K8 を介したシグナル伝達を阻害します。MAP3K3 を介した ERK、JNK、および NF-κB 経路の活性化の負の調節因子として機能し、MAP3K3 を介したインターロイキン-8 の産生を阻害します。、PTM: MARK3 によって Ser-474 がリン酸化されます。、類似性: TKL Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。、類似性: 1 つのホルポールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを含む。、類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、サブユニット: MAP2K1、MAP3K8、MAPK、RAS、および RAF と相互作用する。、組織特異性: 主に脳と腎臓で発現する。、

研究分野

画像データ



KSR2 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



KSR2 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。